

# 平成 31 年度 社会学類編入学試験

## 【社会学】

### 専門科目問題冊子

#### (注意事項)

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは、社会学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・社会学の専門科目の問題冊子は、表紙を除いて 3 ページあり、問 1 と問 2 によって構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答の文頭には、設問番号を必ず記入してください。設問番号が明記されていない場合、採点されないことがあります。
- ・解答欄が足りない場合には、解答用紙の裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面に続く」旨記入してください。

次頁以下の文章は、1980年代アメリカの低所得者向け公営住宅団地クラレンドンハイツにおける二つの少年グループ（ホールウェイハンガーズとブラザーズ）への参与観察とインタビュー調査にもとづいた分析（ジェイ・マクラウド（南保輔訳）『ぼくにだってできるさ——アメリカ低収入地区の社会不平等の再生産』（北大路書房、2007年）第7章「平準化されたアスピレーション」）の一部である。この文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

問1 傍線部の問いに対する筆者の説明を踏まえて、同じ内容を要約的に表現するのに適した社会学的概念を一つ挙げ、その概念を用いて傍線部をより簡潔に説明しなさい。解答にあたり、用いた社会学的概念に下線を付しなさい。

問2 本文を参考にしながら、具体的な社会事象を一つ取り上げ、現代社会におけるイデオロギーが及ぼす影響について、社会集団ごとの違いという観点を交えつつ社会学的な考察を展開しなさい。

\*注

クラレンドンハイツ：

1980年代のアメリカに多数建設されていた低所得者向けの公営住宅団地の一つ。住民たちは「プロジェクト」と呼んでいる。典型的な労働者階級地区の一面に低コストで建築された住宅団地で、約200家族が居住している。住民の約65%が白人、約25%が黒人、約10%がその他のエスニックマイノリティであり、世帯主が独身女性である世帯が約85%、何らかの公的援助を受けている世帯が約70%、大半が親や祖父母の代から公営住宅に住んでいるという。

ホールウェイハンガーズ：

クラレンドンハイツに暮らす10代の少年からなる仲間集団の一つ。大半が白人であり、将来、自分たちが上昇移動する可能性についてほとんどまったく信じていない。

ブラザーズ：

クラレンドンハイツに暮らす10代の少年からなる仲間集団の一つ。大半が黒人であり、将来、自分たちが上昇移動する可能性について比較的楽観的である。

モーキー、ジュアン：

ブラザーズのメンバーの一人。

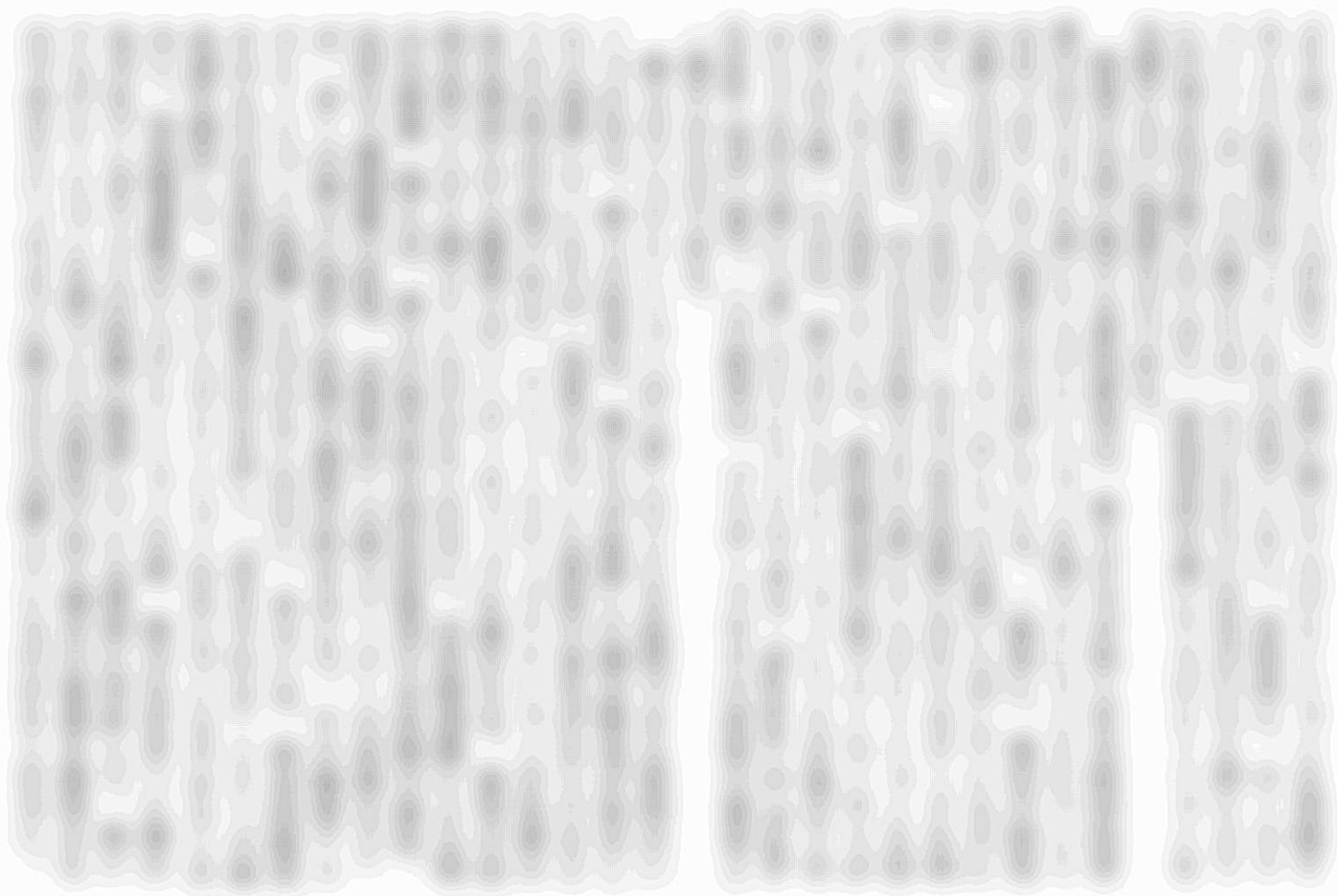
アスピレーション：

野望・野心を意味する語。社会学では、どの程度の教育を受けたいか、どのような職業に到達したいかといった、上昇移動への具体的な達成要求のことを指す。

アフターマティブアクション：

民族や人種、宗教、出自、性別、障害、性的嗜好など、社会集団の間にある歴史的差別的状況を是正するために、進学や雇用、昇進などにおいてマイノリティ集団に特別枠を設けるなどの直接的な優遇措置。





# 平成 31 年度 社会学類編入学試験

## 【社会学】

### 外国語（英語）問題冊子

#### （注意事項）

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは、社会学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・社会学の外国語（英語）の問題冊子は、表紙を除いて 3 ページあり、「問 1」～「問 5」によって構成されています。すべての「設問」に解答してください。
- ・解答の文頭には、「問 1」などの設問の番号を必ず記入してください。設問番号が明記されていない場合、採点されないことがあります。
- ・解答用紙を 2 枚とも使用する場合は、何枚目かが明確にわかるように、文頭に 1 枚目、2 枚目の別を記入してください。
- ・解答用紙を 2 枚使用しても解答欄が足りない場合には、2 枚目の裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面に続く」旨記入してください。



外国語（英語）

次の文章は、社会学者 John Hutchinson による *Nationalism & War* (Oxford University Press, 2017) という書物の書き出しの一部である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

問題文と選択肢の領域が、意図的にぼかされている。

the first of these is the fact that the  
the second is the fact that the  
the third is the fact that the  
the fourth is the fact that the  
the fifth is the fact that the  
the sixth is the fact that the  
the seventh is the fact that the  
the eighth is the fact that the  
the ninth is the fact that the  
the tenth is the fact that the

the eleventh is the fact that the  
the twelfth is the fact that the  
the thirteenth is the fact that the  
the fourteenth is the fact that the  
the fifteenth is the fact that the  
the sixteenth is the fact that the  
the seventeenth is the fact that the  
the eighteenth is the fact that the  
the nineteenth is the fact that the  
the twentieth is the fact that the

the twenty-first is the fact that the  
the twenty-second is the fact that the  
the twenty-third is the fact that the  
the twenty-fourth is the fact that the  
the twenty-fifth is the fact that the  
the twenty-sixth is the fact that the  
the twenty-seventh is the fact that the  
the twenty-eighth is the fact that the  
the twenty-ninth is the fact that the  
the thirtieth is the fact that the

the thirty-first is the fact that the  
the thirty-second is the fact that the  
the thirty-third is the fact that the  
the thirty-fourth is the fact that the  
the thirty-fifth is the fact that the  
the thirty-sixth is the fact that the  
the thirty-seventh is the fact that the  
the thirty-eighth is the fact that the  
the thirty-ninth is the fact that the  
the fortieth is the fact that the

問1 下線部(1)の理由を本文に即して分かりやすく説明しなさい。

問2 下線部(2)を全訳しなさい。

問3 下線部(3)の内容を本文の内容に即して説明しなさい。

問4 下線部(4)は、どのような時代とされているか。本文の内容に即して説明しなさい。

問5 以上の本文に基づき、以下の章タイトルの本書での順番を推測し、記号で記しなさい。

- a) Warfare, Memorialization, and the Foundation of National Communities
- b) Is Nationalism War-Prone?
- c) Contemporary Warfare and the End of Heroic Nationalism?
- d) Warfare, Imperial Collapse, and the Mass Creation of Nation States
- e) European War-Making and the Rise of Nation States